

要 望 書

学校再編統合に係る財政支援について



【代陽小学校の登校風景】

令和7年7月
熊本県八代市

本市の学校施設整備の支援・促進につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では、急激な少子化の進行に伴い、児童生徒数の減少が著しく、学校施設の維持管理や教育環境の確保に多大な課題を抱えております。

このような中、地域の実情に即した持続可能な教育環境の構築を図るため、学校の再編統合に伴う新校舎の建設や既存校舎の改修などの施設整備を推進する必要があります。

さらには、児童生徒数は年々減少しているものの、35人を学級編制の基準とする対応やそれぞれの障がいの種類に応じた特別支援学級の設置に伴い、学級数の増加が進んでいることから、今後、学校再編統合を検討するうえで、過大規模校となることが予想され、施設整備計画に際し重要な課題となっております。

あわせて、これまで再編統合により廃校となった施設の利活用を図っているものの、停滞している状況にあり、施設の維持管理経費が財政負担となっております。

つきましては、今後、児童生徒数の減少を鑑み、学校再編統合への取り組みを推進するためには、国からの一層の支援が不可欠でありますことから、本市の実情を踏まえて、次の3項目について要望いたします。

1 学校再編統合に伴う施設整備の財政支援の充実

学校再編統合に伴う施設整備について、補助率、補助単価及び補助上限額の引上げ並びに公共施設等適正管理推進事業債及び学校教育施設等整備事業債の充実をお願いいたします。

2 過大規模校の補助要件の見直し

学校再編統合や特別支援学級の増加など、特別な事情により31学級以上の過大規模校となった学校施設における新築や増築等の工事経費を補助対象とするよう要件の見直しをお願いいたします。

3 廃校施設への財政支援制度の創設

廃校施設における利活用のための改修経費及び維持管理に係る経費の補助等での財政支援制度の創設をお願いいたします。

令和7年7月

八代市長 中村博生